

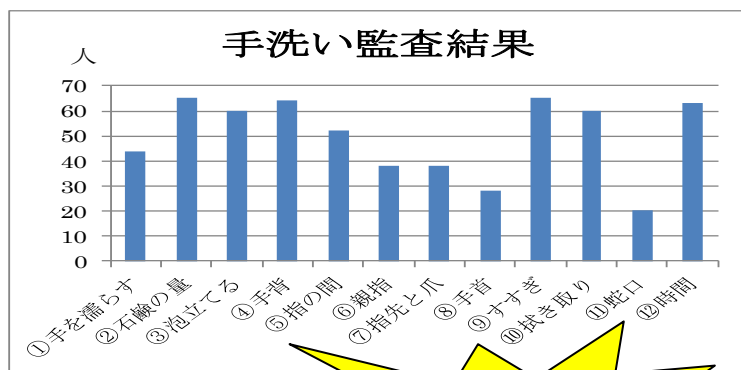
ICTニュースをリニューアルしました・・今後ともよろしくお願ひします。

全職員に向けた手洗い監査を行いました！！

昨年10月～12月に病院職員はもちろんのこと、委託業者の方を含む全職員の手洗いの方法について、看護局感染委員が直接観察をさせていただきました。今回は看護師以外の多職種の方々の結果を報告させていただきます。(今後は、各科医師にもご協力頂きます。)



◆ 「手洗い監査表」を用いチェックした結果、以下のように項目ごとにばらつきがみられ、手洗いの現状における問題点が明らかになりました。



手洗いナンバー1は「給食」でした！！

- ＜手洗いチェック項目＞
- ① まず流水で手指・手首を濡らす
 - ② 液体石鹸を十分な量を使用している
 - ③ 手の平を手の平こすりよく泡立てる
 - ④ 手背をもう片方の手の平でこする
 - ⑤ 指を組んで指の両手の指の間をこする
 - ⑥ 親指をもう片方の手で包みこする
 - ⑦ 指先と爪をもう片方の手の平でこする
 - ⑧ 両手首まで丁寧にこする
 - ⑨ 流水でよくすすぐ
 - ⑩ ペーパータオルで丁寧に水気を拭き取り完全に乾燥させる
 - ⑪ 蛇口に手指を触れないで水を止める
 - ⑫ 15秒以上かけて手洗いをしている

各部署毎に監査結果、職員各自には12点満点中何点であったかをフィードバックしていきますので、再度手洗いチェック項目を確認し、各自の手洗いを見直す機会としてください。目指せ！手洗い名人！

流水と石鹸による手洗いの次は…、アルコール消毒剤の出番です。

目に見える汚れがなくても、手指にはこんな危険がいっぱいです。

- インフルエンザウイルスは、ドアノブなどの環境表面で2～8時間程度生存でき、手が感染原因となる可能性が指摘されています。
- サルモネラ菌、ブドウ球菌、病原性大腸菌(O-157など)、ノロウイルスなどによる食中毒は、主に手の汚染によって引き起こされることが知られています。
- 院内感染を引き起こす代表的な菌「MRSA」も、手を介してどんどん感染が広まっています。

石けん手洗いとアルコール手指消毒剤を使用した時を比較して、手に付着している菌が30秒間でどれくらい減少するかというと・・・

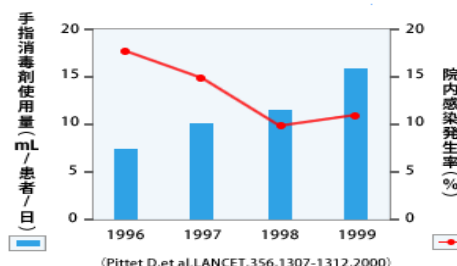
- ◆ 石けん手洗いでは 1/63～1/630 まで減少
- ◆ アルコール手指消毒剤では 1/3000 まで減少

どちらが有効かは一目瞭然



1処置1手洗いの励行で院内感染を防ぎましょう！！

手指消毒と院内感染の関係を調べた報告



アルコール手指消毒剤の使用量が増えることによって、院内感染発生率も減少しています。